

目標達成計画

作成日: 令和3年5月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 3	地域の中でグループホームとしてのアピールが少なく、コロナ禍でもあり地域住民との交流に乏しいグループホームの役割等が地域に認知されるように周知する方法を検討する必要がある	グループホーム「ソーレSole」の役割や特性を地域に周知することができる	①ホームページやパンフレットに「ソーレSole」の謂れやホームの役割などを記載する ②ホームページに活動を掲載し、継続的に更新していく ③月1回の神社掃除に参加し、地域住民との交流を深める(コロナ禍のため職員のみ) ④運営推進会議をホームで開催実現	6ヶ月
2	11	定期的な職員ミーティングの機会が少なく、職員の意見や提案が運営に反映しにくく、共通認識で共有することができにくい	定期的な職員ミーティングを開催し、職員間で活発な意見交換ができ認識を共有する環境を作ることができる	①毎月1回、確実に開催できる日程・時間の計画 ②ミーティング内容の検討 ③参加できない職員の意見反映方法の検討	6ヶ月
3	34 35	災害対策として、火災訓練等は実施できているが、地域住民が参加した訓練が実施できていない また、様々な災害に備えた対策や訓練等が計画できていない	1. 地域住民が参加した形での訓練が実施できる 2. 火災以外の災害時に備えた訓練計画・訓練ができる	1-①運営推進会議等で火災訓練の取り組み等について説明し協力が得られるようにする ②年内に住民参加型の訓練を計画する 2-①火災以外の災害時に備えたマニュアルの作成 ②停電時に備えた備品の準備及び訓練計画・実施	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。